

かえる倶楽部タイムズ

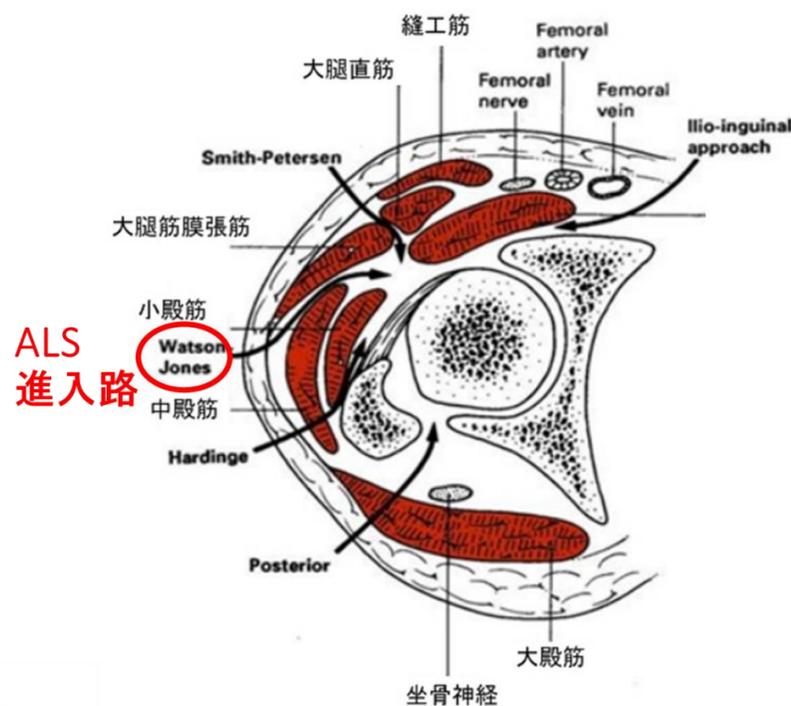
特集 「人工股関節全置換術について」

より関節外科部門に力を入れていくため、2022年4月より整形外科から人工関節・関節鏡センターが新たに発足致しました。人工股関節置換術・人工膝関節置換術・人工肩関節置換術・鏡視下膝・肩関節手術などを主に行っております。

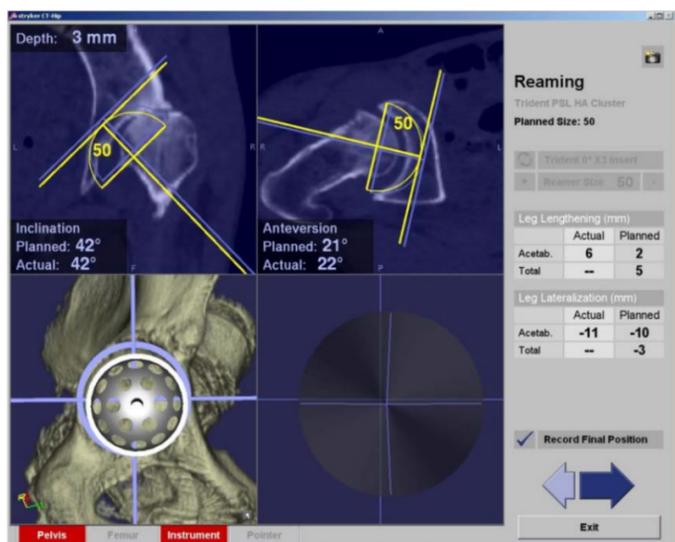
当院での人工股関節全置換術は、AnteroLateral Supine(前外側 仰臥位)アプローチで行っております。

Minimally Invasive Surgery (低侵襲手術)の1つで、(中殿筋などの)筋肉は完全温存、靭帯も最低限の切離にとどまるので、脱臼のriskが極めて低く、術後の筋力低下も少なく活動性の向上が早く見込めるといったメリットがあります。

現在の人工股関節では最も優れた手術法の1つとされています。



ナビ使用時の術中風景



術中には**ナビゲーションシステム**(ストライカー社製、術前CTをもとにインプラントの設置位置を3Dプランニングしナビゲートするシステム)を使用し、術前計画に基づいた**数度・数ミリ単位の正確な設置**を行っております。

最も安定性が得られるインプラント設置位置を実現し、脱臼の不安無く広い可動域が可能となり、活動的な生活を送れて満足度の高い手術結果が期待出来ます。

希望される方については両側の手術も行っており、若い方などできるだけ運動・仕事への復帰を早くしたいというニーズにもお応えできます。

逆に、自宅での生活に対する不安が完全に無くなるまで、十分に時間をかけてリハビリをしたいという患者さんについても、通常の急性期病院では手術後にリハビリのための転院が必要となってしまうがちですが、当院には回復期リハビリ病棟があるため、入院継続の上で手術執刀医とリハビリ科主治医との連携のもとで安心して治療継続が可能です。

【連絡先】 平日 8:30~17:00、土曜日 8:30~12:00
地域医療連携室 (電話)06-7501-1406

以外の時間帯は、代表電話 06-6458-5821 へご連絡下さい。

2022年4月 「人工関節・関節鏡センター長」を拝命

関西電力病院
 整形外科

部長 **澁谷 秀幸**

京都大学医学博士

日本整形外科学会 専門医

日本整形外科学会 認定リウマチ医

日本整形外科学会 認定運動器リハビリテーション医

日本リハビリテーション医学会認定医



Facebook



<https://www.facebook.com/kanden.hospital/>

Twitter



https://twitter.com/kanden_hsp